

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」 新たなるステージへ —



みんなとともに



2月25日(木)の「全校集会(創立記念)」は、校長室と各教室を結んで「リモート」で行いました。これも、タブレット端末が配置されたことや、Wi-Fi環境が整ったことで、実現可能となりました。次年度には、タブレット端末を家庭に持ち帰って活用することも考慮されています。福島市による補助の制度もありますので、各家庭のWi-Fi環境を整えていただくと、大変ありがたいです。



〈令和2年度「本校教育活動」の検証 その6〉

学力向上への取り組みは効果をあげているか (その1)

2月16日(火)と17日(水)に「学力テスト(国・算)」を実施しました。「学力テスト」と呼んでいます。正確な名前は「標準学力検査NRT」と言います。この検査を実施する理由は次のとおりです。

【「標準学力検査NRT」を実施する理由】

- 全国の学力水準と比較することにより、子どもたちの学力を相対的に把握するため。
 - ・ 全国の水準を「偏差値50」に設定している。
- 「知能検査」の結果と「NRT」の結果を関連付けることにより、子どもたち一人一人が自分の持ち力を十分に発揮しているかを把握するため。
 - ・ 「オーバーアチーバー」… 知能よりも高い学力を示している子ども
 - ・ 「バランスドアチーバー」… ほぼ知能とおりの学力を示している子ども
 - ・ 「アンダーアチーバー」… 知能よりも低い学力を示している子ども
- 「領域、単元、内容のまとめり」や「一問ごとの回答」を分析することにより、今後の指導に役立てるため。

「効果をあげているか」と題をつけましたが、この結果が届くのは、まだまだ先(3月中旬)になります。なお、昨年度は、国語科・算数科とも、全学年で全国水準を上回りました。

今年度も、結果が届き次第、お届けしますので、文章表記をよく読み、お子さんの「学力の特徴」をつかんでいただきたいと思います。

さて、学力向上のためには「日々の授業」が大切なのはもちろんですが、そのほかに「全校で取り組んできたこと」があります。

【「学力向上」への「全校的な取り組み」】

- その1 「学力向上プラン」 … 学級ごとに実態を分析して、学力向上への道筋を明らかにする。
- その2 「話し方・聞き方スキル」… 教室に掲示をし、話し方、聞き方の技能を向上させる。
- その3 「活用力育成シート」… 県教委作成の問題を使い、考える力をつける。(4年生以上)
- その4 「家庭学習の手引き」… 本校としての家庭学習の約束にそって、家庭学習に取り組む。
- その5 「まなびい seimei」… 目標をもって、計画的に日々の家庭学習に取り組む。
- その6 「週末作文」… 自分の考えや表現の仕方を大切に、意見文を書く力をつける。

教師の「指導力」に加え、子どもたちの「学びへ向き合う姿勢」や「学びの習慣づくり」が学力を高めることにつながると考え、「授業」と「家庭学習」が連動する「学びのサイクル」を大切にしながら、「学力向上」に努めてきました。その成果は「学力テストの結果」に表れるものと信じています。(後日に続く)

【校長のつぶやき】 その59 「春ですね」

2月18日(木)は、「欠席(出席停止、事故欠を含む)」が「0人」だった。今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応で、体調不良は休んでいただくことを奨励しているので、「全員出席の日」は珍しい。「今年度初めてか」と思って調べてみたら、他に5日もあって驚いた。(5月27日(水) 28日(木) 29日(金) 6月25日(木) 7月31日(金))2学期以降は、「欠々」ということになる。

さて、今年度は7時半に昇降口を開け、子どもの体調確認をしてから校舎へ入れているのだが、最近になって外で待っている子の列の長さが長くなってきた。並んでいる子に聞いてみると、「学校に来たくて家で待ちきれない」とか「早く縄跳びの練習をしたい」とか、それぞれに理由があるようである。「学校が好きでたまらない」のは、うれしい限りである。春になり、子どもたちの気持ちも、全体的に“上昇気流”のようである。